

# ごあいさつ

平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。

この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう、「2023年3月期ミニディスクロージャー誌」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、地域金融機関を取り巻く経営環境は、長引く金融緩和政策や異業種の参入による競争激化等を背景に一層厳しさを増しております。加えて、不安定な国際情勢により表面化する地政学リスクや、金融市場におけるボラティリティの高まり等、従来の尺度では測りえない事象に対する備えと対応の重要性が高まっております。

また、地域社会においては、人口減少による地域経済の縮小や超高齢化社会の進展による新しい人生設計の必要性の高まり、脱炭素・循環型社会への移行やデジタルシフトの加速等、複雑化する課題への対応が求められております。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更による経済活動の活性化や、人々の価値観、ライフスタイル及び働き方の多様化といった変化を新たな成長・発展につなげる「機会」と捉えて適応することが期待されております。

このような中、当行グループは地域金融機関として、創業よりお客さま・地域社会との間で築きあげてきた揺るぎない関係、瀬戸内圏を中心とした広域ネットワークを最大限に活かし、長期的な視点で地域のサステナビリティに関する課題に目を向け、その課題に全力で取り組むことで、お客さま・地域社会とともに持続的な成長を実現していく必要があります。

このため、当行グループがめざしていく長期的な方向性として、2030年をゴールとする「長期ビジョン2030」を策定し、その第1フェーズとして3年間（2023年度～2025年度）の中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ♪」を策定いたしました。総合コンサルティング・グループの進化をすすめ、お客さま・地域社会から「百十四いいよ!」と言っていただけるよう付加価値の高いサービスの提供につとめ、“地域のみんな”がウェルビーイングを実感できる「いい世の中」を創ってまいります。

当行グループは、お客さまや地域社会の発展を通じて自らも成長し、創出した利益や価値を還元していくという好循環を通じて、ステークホルダーの皆さまが笑顔で過ごせる未来の実現をめざしていく所存です。

皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



頭取  
綾田 裕次郎

## 経営理念

- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

### Profile [2023年3月31日現在]

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	発行済株式総数	29,100千株
創業	1878年11月1日	従業員数	1,995人
総資産	5兆7,845億円	店舗数	132店舗
総預金	4兆7,958億円(譲渡性預金を含む)		本支店 99、出張所 22、 クイックスクエア 6、 コンサルティングプラザ 5
貸出金	3兆3,668億円		海外駐在員事務所 1
資本金	373億円		

※ 本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

## 百十四グループ (2023年3月31日現在)

百十四銀行

- 百十四リース(株)
- 日本橋不動産(株)
- 百十四ビジネスサービス(株)
- (株)百十四人材センター
- (株)百十四システムサービス
- (株)百十四ジェーシービーカード
- (株)百十四ディーシーカード
- 百十四総合保証(株)